

学習三原則 — 生活を正す 目標を持つ 継続する



育友会報

学校法人飛騨学園 高山西高等学校

〒506-0059 岐阜県高山市下林町353
TEL0577-32-2590/FAX0577-33-9911

発行 第51号(卒業記念号)
高山西高等学校 育友会 文化委員会
URL <https://takanishi.ed.jp/>



ISO14001認証取得

「卒業生の皆さんへ」

— 育友会長より、はなむけの言葉 —

育友会長 飯山和義



「ご卒業おめでとうござ
います。」

皆さんが今日この晴れ
の日を迎えられたこと
に、心からお祝いを申し
上げます。あわせて、これまで皆さんを支え、見
守り続けてこられた保護者の皆さま、そして
日々導いてこられた教職員の皆さまに、深い敬
意と感謝を申し上げます。

皆さんは今、大きな節目に立っています。
これから先の人生は、学校で学んだ知識だけ
なく、人との出会い、思いがけない出来事、時
思い通りにいかない経験の中で、少しずつ形づ
くられていくものです。私自身、育友会長とし
て多くの子どもたち、保護者の皆さまと関わり
の中で、常に自分の胸に刻み、折に触れて立ち返
ってきた言葉があります。それが「つもり違い
10ヶ条」です。

つもり違い10ヶ条

- 高いつもりで低いのが 「教養」
- 低いつもりで高いのが 「気位」
- 深いつもりで浅いのが 「知識」
- 浅いつもりで深いのが 「欲望」
- 厚いつもりで薄いのが 「人情」
- 薄いつもりで厚いのが 「面皮」
- 強いつもりで弱いのが 「根性」
- 弱いつもりで強いのが 「自我」
- 多いつもりで少ないのが 「分別」
- 少いつもりで多いのが 「無駄」

この言葉は、決して自分を責めるためのもの
ではありません。

むしろ、人は誰しも思い込みや過信を抱えな
がら生きていることを静かに教え、立ち止ま
り、自分を見つめ直すための「道しるべ」のよう
な存在です。

「高いつもりで低いのが教養」という言葉は、
知識や肩書きだけでは測れない、人としての深
さや謙虚さの大切さを教えてくれます。また、
「強いつもりで弱いのが根性」「多いつもりで少
ないのが分別」といった言葉は、自分を過大評
価せず、周囲に学びながら成長していく姿勢の
尊さを、私たちに問いかけています。

卒業後の皆さんの前には、多くの選択肢と可
能性が広がっています。
その一方で、努力しても思うような結果が得ら
れないとき、頑張った分だけ苦しさを感じる場
面にも、きつと出会うことでしょう。
そんなとき、どうか自分を否定しないでくだ
さい。

結果だけが、皆さんの価値を決めるのではあ
りません。真剣に向き合い、努力したという事
実は、決して消えることはなく、必ず将来のど
こかで、皆さん自身を支える力となります。回
り道に見える経験の中にこそ、大切な学びや、
人との出会いがあることも少なくありません。
そして、どうか忘れないでほしいことがあります。
それは、「自分を信じること」、そして「仲間を
信じること」です。

苦しいときに支え合い、励まし合い、高め合え
る人とのつながりは、これからの人生におい
て、何ものにも代えがたい宝物となるはずで
す。

高山西高等学校で過ごした日々は、皆さんの
人生の中で、二度と戻ることのない、かけがえ
のない時間です。

授業、部活動、遠足、修学旅行、体育祭、西高
祭・・・。その中で培った経験、友情、悩み、
挑戦のすべてをどうか忘れずに胸に抱き、自分
らしい歩みが続けていってください。

私たち育友会は、これからも皆さん一人ひと
りの成長と幸せを、心から願い、応援し続け
ています。

4月からの新しい舞台を迎えるにあたり、ど
うぞ健康に留意され、実り多く、心豊かな日々
をお過ごしください。

令和八年 早春

「さらなる飛躍を願って」

校長 谷口 正彦



「卒業生及び
保護者の皆様へ」
おめでとうございませ

また、保護者の皆様におかれましては、本校
の教育活動に深いご理解を賜り、日頃より様々
な面でご支援・ご協力をいただきましたこと
に、心より御礼申し上げます。

西高校での三年間は、いかがでしたでしょう
か。学習に励み、時に困難に直面しながらも努
力を重ねた日々、部活動を通して得た達成感や
仲間との絆、友人と過ごした何気ない時間、そ
して西高祭、体育祭、北海道への研修旅行など、
多くの思い出が皆さん一人一人の心に刻まれ
ていることと思います。これらの経験は、確実
に皆さん自身の成長につながっているはずで
す。

皆さんが本日、卒業という節目を迎えられた
ことを、教職員一同、心からうれしく思います。
これからも夢や目標を持ち続け、それに向かっ
て歩みを止めることなく、自分らしい人生を築
いていってください。夢に卒業はありません。
西高校で培った三年間の経験は、今後の人生の
さまざまな場面でも、きつと皆さんを支える力と
なることでしょう。

もし、困ったことや迷うことがあれば、いつ
でも母校を訪ねてください。西高校には、皆さ
んのことをよく知り、これからも皆さんを大切
に思い続ける教職員がいます。高校卒業後、そ
して社会に出てからの皆さんの活躍を、私たち
は心から期待しています。卒業生の皆さんがそ
れぞれの場で活躍されることが、西高校のさら
なる発展にもつながります。私たち教職員も、
皆さんの母校である西高校をより良い学校に
するため、力を合わせて努力を続けてまいりま
す。そして、いつまでも皆さんが誇りに思える
母校であり続けることをお約束いたします。

卒業後も、皆さんは「西高ファミリー」の一員
です。このことは、保護者の皆様にも、引き続き
ご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げま
す。

【人間は環境の生き物】

「人間は環境の生き物」とは、人は周囲の環境から大きな影響を受け、その中で考え方や行動が育まれていく存在である、という考え方です。

今年度、本校3年K組、レスリング部の堤大智君が、本校創立以来初となるインターハイ優勝という快挙を成し遂げてくれました。これは本校にとっても、誠に名誉な出来事です。彼の優勝は、レスリングにおける類いまれな才能と、日々のたゆまぬ努力によるものであることは言うまでもありません。

しかし、それだけではありません。全面的に支えてこられたご家族、幼少期から親身に指導してくださったコーチ、ともに厳しい練習に励んだレスリング部の仲間やOB・OGの存在、そして実は、西高校の生徒一人一人も、彼の挑戦を支える環境の一部となっています。

本校では、特Iの生徒は平日18時30分まで補習に取り組み、特IIの生徒は部活動に所属し活動しています。多くの生徒が、少なくとも17時頃までは学習や活動に励んでから下校しています。彼自身も、苦しい時や心が折れそうになる瞬間があったことでしょうか。しかし、「周囲の仲間も頑張っている」「苦しいのは自分だけではない」と感じる事ができたからこそ、逃げずに努力を続けることができたと言っています。

人は誰しも弱さを抱えています。つらいことから逃げたくもなること、楽な道を選びたくもなることもあり得ます。それでも前を向いて頑張ることが出来るのは、それぞれの立場で懸命に努力している仲間が存在、そして互いに高め合える環境があるからです。

西高校は、これからも生徒一人一人が成長できる環境づくりを大切に、教職員一同、力を尽くしてまいります。保護者の皆様も何卒ご協力をお願い申し上げます。



一年間を振り返って

教頭 横田 匡司

卒業生並びに保護者の皆様へ

—— 雪解けを待つ飛驒の地より、
輝かしい門出に寄せて ——

暦の上では春を迎えましたが、ここ高山の地には未だ厳しい寒さが残り、山々は白銀の装いを解いてはおりません。この凛とした空気の中、卒業の日を迎えられた生徒の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。そして、今日までお子様を慈しみ、本校の教育活動を多大なるご理解と深い愛情で支えてくださいました保護者の皆様、教職員を代表いたしまして心より御礼と祝辞を申し上げます。

今、目の前に並ぶ皆さんの晴れやかな、そして少し大人びた横顔を拝見し、私たち教職員同は胸が熱くなるような喜びと、大きな誇りを感じています。振り返れば、皆さんがこの西高校で刻んだ三年間は、まさに「成長」という二文字を体現する日々でした。部活動においては、夏の照りつける太陽の下、あるいは凍てつく冬の朝、仲間と白息を弾ませながら声を掛け合い、技術を磨き、一つの目標に向かって切磋琢磨してきました。勉強においては、時に高い壁にぶつかり、自分の実力に悩みながらも、決してペンを置かずに挑み続け、知性と忍耐力を養ってこられました。

何より印象深いのは、学校行事で見せた皆さんの団結力です。体育祭や文化祭では、どの学年にとっても「初めて」という制約や困難がある中、クラスや団の枠を超えて知恵を出し合い、絆を深める姿がありました。北海道での研修旅行では、日常から離れた広大な自然の中で、新たな価値観に触れ、

仲間と共にかけがえのない思い出を作りました。困難に直面するたびに、それをしなやかに乗り越え、ひと回りもふた回りも逞しくなっていく皆さんの姿を、私たちは番近くで見守ることができ、本当に幸せでした。

これから新しい世界へ踏み出す皆さん、「雪の下は芽は、寒さに耐えるほど強く、美しく咲く」ということを知っていますか。この飛驒の厳しい冬を経験した皆さんは、知らず知らずのうちに、逆境に耐えうる強い根を張っています。社会に出れば、冷たい風にさらされることもあるでしょう。しかし、西高校で培った「諦めない心」と、共に汗を流した「仲間の存在」があれば、どんなに深い雪も必ず解け、道は開けます。夢に卒業はありません。西高校での三年間は、皆さんの人生において、嵐の夜に足元を照らす「灯台」のような存在になるはずですよ。

もし、新しい環境で行き詰まったり、独りで抱えきれない悩みが直面したりしたときは、いつでもこの母校を訪ねてください。ここには、皆さんの歩みを知り、心から大切に思っている先生たちが変わらず待っています。皆さんが社会の荒波の中で自分らしく輝き、活躍される姿を、私たちは確信を持って期待しています。

確信を持って進める

「学習三原則」と「三つの重点目標」

本校は平成元年から、「生活を正す」「目標を持つ」「継続する」という学習三原則を礎に、教育改革に邁進してまいりました。その中で私たちが掲げた重点目標は三つ。第一に「生徒が行きたい道へ進める進路実績の向上」、第二に「心身を鍛え、誇りを持てる部活動の強化」、そして第三に「社会から『西高

の卒業生はすごい」と評価される人材の育成」です。今年度の卒業生たちの姿、そして後輩たちの意欲的な姿勢を見るにつけ、私たちの進んできた方向は決して間違いはなかったと、今改めて強く確信しております。

令和七年度

進路実績のご報告

今年度も、生徒たちの血の滲むような努力が、素晴らしい結果を見せました。現時点での実績を詳しくご報告いたします。就職状況ですが、就職希望者16名全員が内定を勝ち取りました。そのうち公務員が内定を、岐阜県警や長野県警など延べ15名が公務員試験合格を果たすという、すばらしい実績を残してくれています。

進学においても、多方面で躍進が続いています。1月26日現在、四年制大学には延べ109校（うち国公立大学12校）の合格が決定しております。また、短期大学には11校、専門学校には25校の合格が決まりました。昨今の少子化により入試環境は変化していますが、それぞれの生徒が自分の適性を見極め、看護や福祉、情報、芸術、調理など、将来の夢に直結する専門的な学びへの切符を手にしたことは、誠に喜ばしい限りです。現在は私立大学の一般入試や国公立大学の二次試験が控えており、学校の自習室や教室では、今この瞬間も懸命に机に向かっている生徒たちが大勢います。彼らが最後まで「初志貫徹」の強い意志を持ち、合格の二文字を掴み取ることを、私たちは全力で信じ、応援し続けます。

変革する入試制度への 対応と今後の展望

近年の大学・短大・専門学校入試は、少子化の影響で受験者数が減少する一方で、制度はかつてないほど多様化しています。総合型選抜や学校推薦型選抜の比率が高まり、学力試験のみならず、面接や志望理由書、プレゼンテーションといった「多面的な評

「価値」が重視されるようになりました。専門学校においては、即戦力となる実践的スキルの習得が再注目され、志願者が増加傾向にあります。

2026年度の共通テストでは、思考力や判断力を問う出題が一層強化されました。特に「地理歴史」「公民」「国語」「外国語」では、複数の資料を読み解き、情報を統合する高度な力が求められています。本校からは今年度68名がこの共通テストに挑みました。想定外の難しさに直面した生徒もいましたが、多くが日頃の成果を發揮しました。本校はこれからも、どの高校よりも迅速に情報を収集し、最新・最善の対策を講じて、生徒たちが不利益を被ることのないよう、万全のサポート体制を整えてまいります。

部活動の輝きと「生徒が自慢の高校」としての誇り

部活動においても、素晴らしい成果が報告されています。紙面の都合上、入賞者のみの紹介となりますが、県大会等で優秀な成績を収めた多くの生徒たちの活動は、本校の誇りです。しかし、成果とは目に見える数字だけではありません。体育会系、文化系を問わず、毎日真摯に活動に取り組みその姿自体が、何よりも輝いています。部活動を通じて培った礼儀、克己心、他者への思いやりは、一生の財産であり、皆さんの自信の源となっているはずですよ。

高山西高等学校には「生徒が自慢の高校」という言葉があります。ひたむきに、一心不乱に努力する生徒こそが私たちの誇りです。教職員一同、お子様をお預かりしている重い責任を改めて噛み締め、一人ひとりの「夢を叶えたい」という願いに、これからも熱い情熱を持って全力で応えていくことをお誓いいたします。卒業生の皆さんの未来が、春の訪れと共に鮮やかに彩られるものであることを祈念しております。



令和7年度 部活動主な大会実績

各種全国大会

- 国民スポーツ大会 (わたSHIGA輝く国スポ) レスリング少年男子
- グレコローマンスタイル
- 71kg級 堤大智さん(3K) 優勝
- 国民スポーツ大会東海ブロック大会
- 岐阜県代表選手



- 剣道
- 増田篤豊さん(3J)、鳥山煌月さん(3H)、佐藤凜和さん(3J)、石原彩伽さん(3L)、小山珠代さん(2H)、大野夏鈴さん(3L)

育友会活動報告(後期)

令和7年

7～8月/ 請願署名運動
署名総数 343,387名(本校18,400名)
来年度補助金額(一人当たり)386,910円
以上の結果となりました。ご協力ありがとうございました。

8月 1日/ 第1回育友会報発行

8月22日/ 模擬面接(3年生の就職希望者対象)

9月25日/ 飛騨地区高等学校育友会連合会
指導者研修会

10月31日/ 岐阜県高等学校PTフォーラム

11月19日/ 私立高等学校保護者連合会
第2回常任幹事会

12月 5日/ フラワーアレンジメント講座

令和8年

2月 9日/ 親父ゼミナール(2年生対象)

3月 1日/ 第2回育友会報発行

3月中旬/ 第2回役員会

3月中旬/ 育友会選考委員会



- バスケットボール
- 工藤海晴さん(1K)、倉知凌叶さん(1K)、中島 志真さん(1K)、反中蒼人さん(1L) ハンドボール
- 村杉欣哉さん(3J)、西野 稜さん(3J)、今井 庄一郎さん(3K)、横田 莉玖さん(3L)、橋本 飛羽さん(2J)、今村 彪生さん(2K)、千垣 内心翔さん(2K)
- インターハイ

(開け未来の扉 中国総体2025)

- レスリング
- 男子フリースタイル
- 71kg級 堤大智さん (3K) 優勝
- 女子フリースタイル
- 62kg級 直井詩空さん(2K) ベスト8
- 50kg級 井田彩夏さん(1K) ベスト8
- 全国高等学校選抜レスリング大会
- 男子フリースタイル 51kg級
- 全国高等学校選抜レスリング大会
- 男子 飯山福斗さん(3L) 第5位
- 65kg級

各種東海大会

- フォーデイズ杯全日本女子オープンレスリング選手権大会
- フリースタイル
- 61kg級 直井詩空(2K)さん 準優勝
- 第39回全国バソコン技能競技大会
- 日本語ワープロ競技団体優勝
- 長瀬智煌さん(3J) 伊東昌汰さん(3J)
- 紙谷耀介さん(3J) 沖垣内大河さん(3J)
- 山脇 昊汰郎さん(2L) 清水天楓さん(2K)
- 日本語ワープロ競技個人優勝
- 長瀬智煌さん(3J)

- 全国高等学校ハンドボール選抜大会
- 東海地区予選会
- 第5位 ↓ 全国選抜大会出場
- 東海高等学校剣道選抜大会
- 男子団体
- 女子団体
- 東海アンサンブルコンテスト
- 管打八重奏
- 全国高等学校選抜レスリング大会
- 東海地区予選会
- 男子フリースタイル 51kg級
- 飯山 礼心さん(2L) 第3位

東海新人大会

- 卓球 女子団体 出場
- 陸上 円盤投げ 今田 亘亮さん(2H) 出場
- 砲丸投げ・円盤投げ 蒲結月さん(1H) 出場

岐阜県新人大会

- レスリング 男子フリースタイル
- 51kg級 竹腰 泰生さん(1H) 第1位
- 55kg級 圓山 礼心さん(2L) 第1位
- アーチェリー
- 女子団体 第3位
- 男子個人 岡崎 李玖さん(2I) 第4位

- バドミントン
- 女子団体 ベスト8
- 個人W 小坂井 夏瑠さん(1K)・
- 鈴木 心晴さん(1K) ベスト8

- ハンドボール 準優勝
- 男子団体 優勝
- 個人 青木 航太郎さん(1H) 第1位
- 大野 温史さん (2L) 第3位
- 女子団体 優勝
- 個人 小山 珠代さん(2H) 第1位
- 大野 夏鈴さん(2L) 第2位

- 男子バスケットボール
- 準優勝 ↓ 東海新人大会出場



- 女子バスケットボール 第5位
- 新体操
- 個人 中田 羽菜さん(1K) 第4位
- スキー
- 女子スラローム 山下 幸奈さん(1I) 第3位

各種大会

- 全国高等学校総合体育大会岐阜県予選
- 男子スラローム
- 滝村 武蔵さん(3H) 第2位
- ↓ 全国高等学校総合体育大会出場
- ジャイアントスラローム
- 滝村 武蔵さん(3H) 第2位
- ↓ 全国高等学校総合体育大会出場
- 女子スラローム
- 山下 幸奈さん(1I) 第5位
- ジャイアントスラローム
- 山下 幸奈さん(1I) 第5位

- 岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ)出場
- 男子 優勝 ↓
- 選手権大会(ウインターカップ)

- 岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ)出場
- 女子 ベスト8
- 男子の部 第3位 ↓
- 東海高校駅伝大会出場

- 区間賞(第1区)
- 日古見 那由他さん(3J)
- 岐阜県バドミントン選手権大会 (複2部)

- 女子個人W
- 小坂井 夏瑠さん(1K)・
- 鈴木 心晴さん(1L) ベスト8

- 全国高等学校剣道選抜大会岐阜県予選会
- 男子団体 第3位 ↓
- 東海高等学校剣道選抜大会
- 女子団体 優勝 ↓
- 全国・東海高等学校剣道選抜大会

- 岐阜県アンサンブルコンテスト
- 管打八重奏 金賞・岐阜県最優秀賞 ↓
- 東海アンサンブルコンテスト出場
- 打楽器七重奏 金賞
- フルート三重奏 銀賞

- 東海アンサンブルコンテスト出場
- 打楽器七重奏 金賞
- フルート三重奏 銀賞



「笑顔と支えの3年間」

3年F組 進藤 琴音



本気で勉強に取り組もうと考え、特進Ⅰクラスに進学しました。入学前から、特進Ⅰクラスは勉強が大変で、9限まであると聞いており、高校で勉強を頑張りたいという思いが強くなった一方で、これが自分の描く理想の高校生活なのかと不安に感じることもありました。

実際に入学すると課題も多く、1日のほとんどを机に向かつて過ごす日々が続きました。夜遅くまでの勉強や早起き、正直つらく心が折れかけたこともありましたが、F組のクラスメイトや先生方の存在でした。苦手だった勉強も簡単に諦めず、わからないところは周りの人に聞きながら、自分が納得するまで理解を深めたり、通学時間を利用して英単語の勉強に取り組んだりしました。

F組は個性派揃いです。女子7人男子6人の全員で13人と少人数のクラスではありますが、一人ひとりが個性豊かで、教室内は毎日笑いが絶えず、活気が溢れていました。会話が盛り上がりすぎて授業の進行が滞ってしまったり、黙習の時間について話してしまったりすることがあり、そのたびに担任の松岡先生からご指導いただきました。先生方にはさまざまな面で迷惑をおかけしたと思います。

3年の秋を迎える頃には、クラスはより一層、受験ムードに包まれました。それでもクラスは常に賑やかで、勉強との切り替

えはそう簡単ではありませんでした。気持ち不安定になったり、勉強面や進路で悩むこともあったりしましたが、「大学進学」という共通の目標を持つ仲間が集まるクラスであることで、誰かの努力する姿に影響を受け、クラスメイト同士が互いに切磋琢磨しながら勉強を頑張れました。そこがF組の良いところだと思っています。また、先生方はお忙しい中、自分の時間を削って私達の進路の相談や志望理由書の添削、面接練習など、受験に向けたサポートをしてくださいました。先生方が受験に向けて言ってくれた温かい言葉やアドバイスは私たちが前に進む勇氣をもらい、大きな支えとなりました。本当に感謝しています。

この3年間、早起きや長い通学時間、そして膨大な課題に負けず、毎日休まず登校することができました。高山西高校での生活を通して、学力だけでなく、精神面も大きく鍛えられたと感じています。このような大変な日々を乗り越え、今日、無事に卒業式を迎えることができたのは、家族、F組のクラスメイト、そして先生方のおかげです。皆さんのおかげで、私の高校生活はかけがえのない、充実したものになりました。高山西高校での学びを無駄にせず、卒業後も新たな夢を叶えるために日々努力していきたいと思っています。

最後に、この出会いと、3年間支えてくださったすべての方々への感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。



「守破離」

武道場には
紺色の布地に白字
で力強く書かれた

「守破離」の部旗
が掲げられてい
ます。毎日の厳
しい稽古が思



い通りにいかず悩んだ日もずっと変わら
ずそこにあり、私たちを見守ってくれてい
るようでした。高校三年間を振り返ると、
剣道に打ち込んだ日々は、教えを守り、工
夫し、やがて自分の道を進む「守破離」の
過程そのものだったと今、感じています。

入学と同時に緊張感のある稽古や慣れ
ない寮生活が始まり、最初は先輩の背中
を見てついていくことに必死で、毎日があ
つという間に過ぎていきました。先生の教
えをよく聞きながらひたすら基本に打ち
込み、寮生活を通して規則正しい生活や
周囲への気配りを学ぶ毎日を重ねるうち
に、剣道の土台となる基礎の大切さや、仲
間と共に支え合いながら生活できる環境
のありがたみを実感しました。その教えを
守ることから始まり、基礎を身につけたこ
の「守」の時間が、その後の挑戦を支える
土台となりました。

キャプテンとして部をまとめる立場に
なつてからは、部の先頭に立つ責任を強く
意識するようになり、状況に応じて判断
し、工夫する大切さや難しさを学びまし
た。思うようにならず悩むときも仲間と

3年L組 石原彩伽

話し合い、工夫を重ねながら自分なりに考
え行動し、皆で乗り越えてくることができ
ました。この日々の経験は守ってきた教え
を土台に一步踏み出せた「破」の段階であ
つたと思います。

守破離の「離」とは、これまでの教えや

経験を胸に自分なりに歩
みを進めることだと思いま
す。三年間の学びを支え
に、これから私はこの学校
や街を離れ、新しい生活に
踏み出します。卒業を迎え
る今、ここまで歩み続ける
ことができたのは、多くの
方々の支えがあったからだ
と心から感じています。三
年間を通して、前川先生と
綾先生はどんなときもそ
ばで支え、導いてくださり、
技術だけでなく、剣道に向
き合う姿勢や人として大
切なことを、心を込めて教
えてくださいました。また、
日々の学校生活を温かく
支えてくださった先生方、
毎日の苦楽を共にしてきた
剣道部の仲間、部活動以外
でもいつも変わらず元気を
くれたクラスの皆、そして、
剣道に打ち込む日々を見
守り、支え、私の夢を応援

してくれた家族への感謝の気持ちでいっ
ぱいです。大好きな仲間や先生方と出会
えたこと、たくさんの人に支えられながら
高山西高校で剣道や勉強に打ち込めたこ
とに感謝し、これからも自分らしく前へ歩
んで行きます。三年間本当にありがとう
ございました。



